

令和6年度 狛江市立狛江第二中学校の目指す教育（学校経営グランドデザイン）

<確かな学力の定着と向上>

- ◎「課題設定」「課題解決」「協働解決」「まとめ・振り返り」の4つの要素を盛り込んだ「学が楽しさを実感できる授業」による主体的・対話的で深い学びの実現 ⇒「正しい知識を身に付け活用できる力」と身に付けた知識や自分の経験を根拠として思考し表現する力の育成を目指した授業改善
- 言語活動の充実、ICT機器の積極的な活用
- 生徒用タブレットを有効活用した授業と家庭学習の一体化
- 市学力調査（N R T）等やWEB-QUの結果、生徒による授業アンケート（年2回）等をふまえた指導方法の工夫・改善
- シラバスの策定による指導と評価の一体化
- 学習の記録やシラバス、教育相談等を通して啓発する家庭学習の定着及び学習習慣の確立⇒「**二中の学習 虎の巻**」
- 習熟の程度に応じた少人数指導（数学・英語）による個に応じた指導の充実、狛江市算数・数学習熟度別指導の発展教材の活用、A L Tや3年次のT G G、「東京グローバル・ゲートウェイ」等を活用した「聞く」「話す」指導の充実による英語でのコミュニケーション能力の向上
- 「主権者教育」：第3学年社会科の単元への位置付け及び社会参画の態度を育むための体験的・実践的な学習の推進

<人権尊重と豊かな人間性の育成>

- 「考え、議論する」道徳科の推進、道徳教育推進教師を中心とした指導体制の整備、適正な評価の実施、いじめに関する授業（道徳・学活）の各学期実施⇒「いじめをしないさせない見逃さない見て見ぬふりをしない」態度の育成、道徳授業地区公開講座の土曜開催（全校道徳等による実施方法の工夫）
- WEB-QUの結果を活用した学級・学年の指導による生徒理解と良好な人間関係の構築
- 生徒会活動や学級活動、集団としての意見をまとめる話し合い活動等の活性化による望ましい人間関係の構築と主体的な態度の育成、「共生」の心で、**互いに高め合う集団づくり**
- 「自ら考え判断し行動する生徒」・「自らを律し他者を理解する生徒」・「仲間と共に学び高め合う生徒」の育成を目指した総合的な学習の時間の充実及び適正な評価の実施
- 成功体験や自己有用感を育み、良好な学年集団を育成する合唱
- 多様な部活動の開設と「狛江市部活動ガイドライン」に基づく適正な実施と指導の充実
- 自主性や協調性等の育成、自己有用感等を実感できる学校行事の充実（体育祭、合唱祭、総合発表会等）
- 社会貢献の精神を培うボランティア活動の奨励、環境教育の推進、学校図書館の有効活用

<体力・健康の増進>

- 運動に関する二極化の実態をふまえた意図的・計画的なきめ細かい指導による体づくり、主体的に運動に取り組む態度の育成、持久力の向上、体育理論・保健学習・体づくり運動の充実、がん教育の推進
- 自ら薬物の被害から身を守るための知識を身に付け、生涯にわたり健康な生活が送れるよう、薬物乱用・飲酒喫煙防止教室の実施
- 保健体育や部活動等を通じた体力の向上
- 保健指導及び食育の観点をふまえた学校給食の充実、食物アレルギー対応、学校・家庭・関係諸機関が一体となった健康づくりの推進

<特別支援教育の推進・充実>

- 教育相談の充実、個別指導計画及び学校生活支援シートの作成・活用
- 巡回相談・関係諸機関の活用、特別支援教育への理解
- WEB-QUの結果やS Cとの連携によるインクルーシブ教育の実現、副籍交流の推進
- 各学年に配置した特別支援教育コーディネータによるリーダーシップと特別支援校内委員会の開催（週1回の定例開催）

【教育目標】

互いを認め合い共に生きていくことを意識し、感動する心を持ち、未来への夢や目標に向かい、強い意志で自らを律しつつ、その実現に努めるとともに、我が国と郷土を愛し、正義感や公正さを重んじ、持続可能な社会の創り手としての生きる力を身に付けた生徒の育成を図るために、次の目標を定める。

- 1 自主自律 「自ら学び考え、自らを律しつつ、主体的に行動する生徒」（**問題発見・解決能力**）
- 2 相互敬愛 「自他の生命を尊重し、相互に高め合う生徒」（**人間関係形成能力**）
- 3 意志と実践 「夢や目標の実現に向け、強い意志を持ち、前向きに実践する生徒」（**実践力**）

日本国憲法、教育基本法、学校教育法、地方公務員法、教育公務員特例法、学習指導要領、都市教育目標及び基本方針、狛江市 教育振興計画・実施計画
生徒の実態と願い、保護者・地域・教師の願い

【目指す学校像】

○生徒一人ひとりが目を輝かせ、何事に対しても前向きに活動できる学校

- 1 人権尊重を第一とし、生徒同士や教員が互いに感謝し合い、笑顔があふれ、誰もが安心して過ごせる学校
- 2 落ち着いた学習環境のもと、生徒たちが意欲と関心をもって主体的に取り組むことのできる授業が展開され、**確かな学力を身に付ける学校**
- 3 生徒たちが相互に高め合い、「共生」の心で生き生きと活動できる学校行事・生徒会活動・部活動等を通して、自己有用感を高め、**自己実現できる学校**

<進路希望の実現>

- 自己の特性についての理解の深化、キャリア教育の視点に立った職業観・勤労観の育成
- 各学年の特性をふまえた中学校3年間の年間指導計画・全体計画に基づく進路指導の充実
- 1年次：「職業人の話を聞く会」⇒「自己理解・自己管理能力」の育成
- 2年次：「職場体験」「上級学校調べ」等⇒「人間関係形成・社会形成能力」の育成
- 3年次：学校見学・説明会への参加等⇒「課題対応能力」の育成⇒「キャリアパスポート」の活用
- 年2回の進路説明会及び進路相談、外部人材の効果的な活用

<安心・安全な学校生活>

- 共通実践の企画調整の場「生活指導小委員会」の定例化による生活指導上の諸問題の未然防止と組織的な対応
- WEB-QUの結果を活用した生徒のより一層の実態把握
- いじめ・不登校の未然防止への取組：「狛江二中いじめ防止基本方針」の活用、教育相談コーディネータやスクールカウンセラーを含んだ教育相談体制の充実
- 日常的な挨拶によるコミュニケーションの充実、WEB-QUの結果等を活用した生徒の実態把握、教育相談（年3回）
- 「生命（いのち）の安全指導の手引き」等の活用による、性犯罪・性暴力への理解と自殺予防
- 自殺防止教育：都教委作成のDVDの活用、道徳学級活動等で1単位時間実施
- 実践的な避難訓練の実施、防災マニュアルの策定、交通安全指導、セーフティ教室、薬物乱用防止教室・飲酒喫煙防止教室の実施（1,2年）、「学校SNSルール」を活用した情報モラル教育の推進、救急救命講習会の実施（3年）
- 部活動等を通じた健康な身体と精神力の向上及び事故や熱中症等の安全に関する指導の充実

【学校経営の理念】

- 学校教育目標（目指す生徒像）の具現化に向け、中学校が義務教育9年間における最終段階という認識のもとに、「自分の将来に夢や目標を持ち、自立して卒業できる生徒の育成」を基本姿勢とする。そのために自尊感情や自己肯定感の育成し、自信をもたせることで、より「主体的に行動できる生徒」の育成を目指す。
- 教育目標（めざす生徒像）の具現化を、「自立」「共生」の2つの視点を重視し、教育活動を展開する。
- 生徒にとって安心・安全で認められ、楽しい体験ができる教育環境の充実に努める。

<保護者・地域・関係機関との連携・協働の推進>

- コミュニティ・スクール、学校評価、第三者評価を活用した学校運営の推進
- 「学校だより」や「学年だより」等、「学校ホームページ」等による保護者・地域への適時・適切な学校情報の公開
- 学校公開・授業参観・保護者会等の持ち方の工夫
- 保護者・地域に対する学校行事への参観に向けた積極的な働きかけ
- 第三小学校、第六小学校との交流の深化（夏季休業中の部活動体験入部、生徒会新入生説明会、教員間の情報交換等）、小中9年間の目標の共有化と系統的な活動の展開（9年間のスロープ化）
- 地域行事への積極的な参加
- 狛江市地域学校協働本部と連携した、職場体験や上級学校訪問等における地域人材の活用